新京日日新聞
朝刊
【本紙朝夕刊十二頁】
本紙定價 一部五錢 一ヶ月壹圓
廣告料金 普通一行壹圓 特別一行貳圓
發行所 新京永樂町四ノ一 新京日日新聞社
電話 編輯局專用 營業局專用
發行人 十河榮
編輯人 松本
印刷人 水越

光ある建設の理想へ第二次時代への發足

辛酸五ヶ年の大業を經て永遠の國基茲に固る

滿洲國は大同元年（一九三二年、昭和七年）三月一日呱々の聲をあげてより本年三月一日を以て滿五ヶ年の誕生を迎へる、これを昭和六年九月十八日の事變にまで遡れば足掛け七年、滿五ヶ年六ヶ月の星霜を閲する、五ヶ年と一口に言へば夢のやうに淡い經過ではあるけれども、想ひを建設の大業に致せば、そこには並々ならぬ深慮と涙ぐましい努力がある、直接その衝に當れる政府當局者は勿論、治安の確保、國防の充備に日夜碎身粉骨の努力を拂ひつゝある日滿軍警の絶大なる功績、しかしてその裏面において新國家發展の素地を作りつゝある同胞六十萬の決死的努力は萬民に銘記さるべきことである

けふ建國五周年記念日

基礎的工作大成す　内政、外交、經濟への課題

建國五ヶ年の諸工作は或は基礎工作と言はれ或は平定統一工作と呼ばれてゐるが、之は畢竟するに内充外向の準備工作に他ならない、國力の充實なくしては王道樂土の建設は言はずもがな、滿洲國の國際的地位の向上はこれを望み得べくもない、こゝに於て滿洲國建設の大方針はまづ内部的充實を主眼とし、從來直接にか間接にか舊政權に結びついてゐたあらゆる政治經濟のメカニズムとそれに跋扈する大小閥族政治家とを一掃打破しこれを日滿不可分關係の上に立脚する新政權の下に中央集權的に統合整備することであつた、しかして之が成果を吾人はいま眼下に見る、即ち國内政治の劃期的整備の裡に國家財政の堅實なる發展の裡に國民經濟の急速な轉換の裡に交通及び貿易の圓滑なる統制の裡に更に國防ならびに治安の安固なる工業の裡に言葉を換へて言へば理想と現實の巧みなる調合の道程の中に吾人はわが滿洲帝國の輝かしい進展の足跡を發見することが出來るのである、そこで一應過去の年代記を回想しつゝ將來への課題を尋ねて見やう

大同元年東北委員會委員長張景惠氏は滿洲國政府の名を以て新獨立國家建設の大旨を中外に宣明し、民族協和、機會均等、門戶開放の三大方針を以て國家の向ふべき新道を明かにしたが、爾來滿洲國はまづ内政の整備に努め中央政府の確立、治安の確保、五族協和、地方行政の漸次的革新、司法制度の充實等中央並びに地方を通じ日を逐ふて躍進の一途を示した、しかしてかゝる急速なる内政の改新整備は國家を以て一つの有機的經營體となし總ての政務を總務廳中心に行はしめて來た滿洲國獨特の中央集權主義的統治機構に負ふところ大なるは何人も異存のないところであるが今や滿洲國は第一次五ヶ年の基礎的工作を大成し、第二次建設への劃期的轉回を行ひつゝあるのであるから建國以來經營國家のピラミット的存在としての總務廳中心政治は新しい意義と機能を要請せられてゐるのである、これ一方に於て中央統治機構の有機化、細分化に隨ひ、他方に於て地方行政組織の合理化に伴ふ必然の歸結である、又かくの如き政治組織の細分は產業五ヶ年計畫の進行道程に於ては中央政治機構を益々膨大ならしめ、それが他の要因と共に社會政策的經費の貧困を結果づけてゐるのであるから安價なる統治費による効率の向上といふ意味で中央政治機構における各部の統合と地方行政組織における縣の廢合とが轉換期における第一の即應的課題として登場する

×

第二に外交上の問題である、大同元年三月一日の建國宣言に於て滿洲國の外交方針は適切にも宣言せられたが、次で同月十二日謝介石外交部總長の名を以て日、ソ、英、獨、佛、伊、米等世界十七ヶ國に對し外交關係の開始を求めた、其後正式に滿洲國を承認せるものはサルバドル國及びローマ法王廳の二つに過ぎないが實際上においては獨、佛、伊、英等の各國と經濟上の協定又はアンタントの形式に於て實質上漸次國際的承認を受くべき地位にまで發展しつゝある、特に友邦日本により治外法權の撤廢ならびに行政權移讓後に於ては從來滿洲國側及び日本側（關東局、外務省、陸軍省、拓務省、朝鮮總督府滿鐵、居留民會）に於て夫々多頭的に行はれ來つた司法並に行政事務はすべて滿洲國に統合せられ、同時に從來やゝもすれば統制を缺く虞れありし財政權も悉く滿洲國に統一合理化されることとなるので日滿關係の强化は一層促進せられるであらう

×

第三は經濟上の諸問題である滿洲國の國民經濟は過去五ヶ年間に於て量的にも質的にも急テンポの轉換を遂行し來つたのであるが將來に與へられたる問題はこの一應整備されたる計畫經濟機構を對内的及び對外的に如何に運營するかといふことである、これを日滿關係より見るに或種の原料資源においては相互足らざるを補ひ合ふことも可能であるがしかしその他の石油、羊毛、棉花、鐵、輕金屬の如き重要資源に於ては兩者合計するも尚ほ急需を充すに足らざる現狀にある、しかも資本と技術に於ては今後益々日本の援助を絕對必要とするのであるから、日滿不可分關係は特に經濟面につき再檢討の急務に迫られてゐるのである、かくて最早競爭產業の排除であるとか、對滿投資の逡巡であるとか言つて居らるべき秋ではない、生產の擴充は日滿共同の課題であり、たゞもう一途に資源の開發に邁進せねばならない、たゞこゝに留意の必要を認めることは今後に於ける日本の財政ならびに產業政策が如何なる影響を日滿經濟關係へ齎すかである、特に日本に於ける物價騰貴は惹いて滿洲產業五ヶ年計畫の所要資金をそれだけ膨脹せしめる必然性を有つのであるから將來滿洲經濟の進行を促進し又はチエックするものはかゝつて日本經濟力の健全性の如何にあると言へるであらう

第四に國防及び移民問題である、さきに二十ヶ年五百萬人の移民計畫が國策的事業として決定され、來年度において五ヶ年十萬戶の一部としてまづ六千戶の移民實施が豫定されてゐるのであるが、大量日本移民の急速なる實現を必要とする事由は今更論ずるまでもないことである、たゞこれが爲に十數億の經費を必要とするので一部には我が財政が果してこの負擔に堪へ得るや否やについて懸念する向もあるけれども今やこれが成否を云々する場合ではない、即ち日本移民は第一に滿洲開發の見地より、第二に日滿共同國防の見地より、第三にわが人口問題解決の見地より、何れも刻下急務の重大問題である、しかして現在に於ては主として農業移民に限定されてゐるが將來に於ては敎員、警察官、醫師、技術員、工場勞働者、小商工業者等のあらゆる階級の大々的日本移民—民族移動が要望されるのである、最後に滿洲國の國防に就て簡單に觸れやう、滿洲國の國防は日滿不可分關係から日本帝國の發展と滿洲國獨立主義との協調といふ原則的聯繫の下に考察されねばならない、今滿洲國國防費總額を本年度の日滿兩國豫算より概算するに滿洲國々防分擔金を含めて軍政部經費八千萬圓、滿洲事件費二億七千萬圓（國防分擔金を除く）合計三億五千萬圓であつてこれを滿洲國國費總額二億四千八百萬圓に對比すると實にその十四割に該當する、しかして滿洲國々防費總額の負擔割合は滿洲國二割三分に對し日本は七割七分を占め、日本政府負擔額のみでも滿洲國國費總額の約十一割を占めるのである、これを以て見ても日本政府が如何に滿洲國の國防に多大の犧牲を拂つてゐるかゞ數字上より察知し得るのである、とまれ滿洲國は第二次建設への第一歩を踏出した、玆に於て吾人は過去五ヶ年に於て建國の大業に死を以て殉じた幾多の偉靈に心から感謝を捧げると共に光ある建設の理想に滿腔の熱意を覺える

日滿不可分の原則　國防及移民問題

帝位繼承法發布

國運永遠の隆盛を期する不磨の大典定めらる

帝室大典委員會においては康德三年十二月一日をもつて帝位繼承に關する部分の立案審議を了し、宮內府大臣を經て政府に移牒したので、滿洲國政府は康德四年建國の佳辰をトし、不磨の大典たる帝位繼承法を發布し、國基を永遠に鞏固ならしめることゝなつた帝位繼承法の內容左の如し

帝位繼承法

我が滿洲帝國は日本帝國の仗義援助に賴り斯の洪業を開き斯の邦基を奠む是を以て朕登極以來仰で眷命の本づく所を體し俯して國脈の繫る所を念ひ有ゆる守國の遠圖經邦の長策悉く日本帝國と協力同心以て益々兩國不可分離の關係を鞏うし一德一心の誼義を發揚し夙夜勤求敢て或は懈るなし今茲に帝位繼承法を制定し繼體付託の重きにおいて厥の法典を定め、諸を久遠に示す大寶嚴然亙中易らざる實に日本天皇陛下の保佑に是れ賴る夫れ皇極あり惟れ皇極となり、天道を裁成し地宜を輔相し民の父母となり、仁以てその政を行ひ義以て其の法を制すれば則ち重熙累洽獲謨の下、永く君民一體の美を一にし、當に天地と其の明を合すべきなり、凡そ朕が繼統の子孫及臣民たる者深く肇興の基其の啓く所と受命の運其の賓る所とに鑒み咸な朕が萬方を撫綏して宵旰倦まざるの心を以て心とし、聿修惟れ愼み欽戴替るなくんば則ち垂統萬年必ず無疆の體を享け克く長治の福を保たむ

御名御璽

康德四年三月一日
國務總理大臣
宮內府大臣

帝位繼承法

第一條　滿洲帝國帝位は康德皇帝の男系子孫たる男子永世之を繼承す
第二條　帝位は帝長子に傳ふ
第三條　帝長子在らざるときは帝長孫に傳ふ帝長子及其の子孫皆在らざるときは帝次子及其の子孫に傳ふ以下皆之に例す
第四條　帝子孫の帝位を繼承するは嫡出を先にす帝庶子孫の帝位を繼承するは帝嫡子孫皆在らざるときに限る
第五條　帝子孫皆在らざるときは帝兄弟及其の子孫に傳ふ
第六條　帝兄弟及其の子孫皆在らざるときは帝伯叔父及其の子孫に傳ふ
第七條　帝伯叔父及其の子孫皆在らざるときは最近の者及其の子孫に傳ふ
第八條　帝兄以上は同等內に於て嫡を先にし庶を後にし長を先にし幼を後にす
第九條　帝嗣精神若は身體の不治の重患あり又は重大の事故あるときは參議府に諮詢し前數條に依り繼承の順序を換ふることを得
第十條　帝位繼承の順位は總て實系に依る

附　則

本法は公布の日より之を施行す

張國務總理謹話

帝位繼承法公布に際し張國務總理大臣は左の謹話を發表した

本日建國第五周年の記念日に當り四海歡喜、萬民慶祝のうちに畏くも帝位繼承法が公布せられましてわが國礎愈よ鞏固を加へましたことは寔に感激に堪へない次第であります

尊位に

惟ふに國家統治の尊位につきその繼承の大法を條章として不易の天則を定めました國は、東洋において大日本帝國あるのみであります、が、いまわが滿洲國において帝位繼承の大典が制定せられまして君臣の大義、國家の大經が嚴として樹てられましたことは極めて意義深いことであります、特に支那の歷代が中にも禪讓放伐に終始し、尙書にも孟子の如き千古の大賢の思想にも禪讓放伐の考へがありますことに鑑み一段とその感を深うするのであります、今回制定せられた帝位繼承法は其第一條の示す如く、今上皇帝陛下を帝祖とし、その御子孫が永世滿洲帝國帝位を御繼承遊ばさるゝことを根本眼目とし、第二條以下その

御子孫

の間における大統繼承の順位を明らかにし、もつて帝位の無疆に傳はると共に、國運の永遠に旺盛ならん事を期したものでありまして國家の慶これに過ぐるものなく、人民の福これに優るものはないのであります、我國はこの大典を拜し至祝盡ざるうちにも欽戴萬年敢て替る勿きの決心を固うすることを誓はねばならないのであります、わが滿洲國が建國僅か五年にしてこの慶福を仰ぎますことは、畏くも帝位繼承法前文に宣はせられました如く大日本帝國天皇陛下の皇帝陛下を御保佑あらせらるゝことに賴るものでありまして、水を掬して源を思ふとの語の如くたゞ感激に咽ぶのみであります

吾人は日本帝國と益々一德一心の美を發揚し日滿不可分離の

關係を

永久に固うし、東亞の安定に貢獻せねばならないのであります

なほ本大典の立案起草の重責を付託せられました滿二ヶ年に亘り至愼至重研究を遂げられました帝室大典委員會に對しこゝに深甚の謝意を表するものであります

宮內府大臣謹話

我皇帝陛下應天順人丕基を肇建し實に萬無疆の休を開く帝制實施の際に當り組織法を公布し帝位繼承に關しては再び之れを定むるの語あり、良に帝位繼承は關係重大なるを以て必ず須らく敬愼して研討し以て永世不易の典範を垂るべし、爰に康德二年一月帝室大典委員會を設立し敬しく謹んで從事し二年間の久しきを經過し政府と鄭重に協議して本法を制定せり、奉詔頒布上以て繼體付託之基を定め下以て全國々の望みを慰む此れ

本職の

榮幸にして惶懼に勝へざるものなり、帝位繼承は國家統治の根本を爲す、玆に建國五周年記念日擧國慶祝の佳辰に於て邦基を鞏固ならしむる大典を頒布し薄海臣民同深歡忭今より康樂萬世の隆昌は預めトす可きのみ本職位を宮廷に備へ恭しく宸懷を體し世界の和平人類の福祉を以て念とせざる時無し本法は繼統を昭重を制定す、益々王道を推行するを得て日に晋昌期聖衷深く悅豫と爲す恭しく頒布の本法を讀むに上諭中に仁以て其の政を行ひ義以て其法を制すと重熙累洽獲謨之下永く君民一體の美を一にす數語煌々仁章實に

天地と

德を合す凡そ我臣民忠敬君に事へ精誠國に報じ我友邦と一德一心東方固有の道德精神を發揚し以て深厚の萬一に仰答を期すべし本職感激の餘敢て國民に告ぐる者也

康德四年三月一日　宮內府大臣　熙洽

空には銀翼の祝福　地に滿つ萬邦の歡喜

けふ盛大な慶祝行事

三千萬民衆の意向を以て即日宣布して中華民國と關係を離脫し順天安民の趣旨に則り新國家滿洲帝國が建設されて滿五周年今や滿蒙の天地は國運隆々として力强き步みをつづけてゐる王道五色旗の下に起つ三千萬民衆は躍進樂土を讃歎すると共に建國精神を宣揚するため全滿擧げて今日の記念日を祝福して諸行事が盛大に擧行される、此の日國都新京では三十萬市民一齊に業を休み午前十時五十分から各機關代表五萬の大衆が大同公園に集合して建國記念大會を開き建國以來の殉國烈士の慰靈祭を行ひ終つて十一時廿分からは日滿交驩建國體操を行ひこれを中外に放送し午後零時三十分からは記念公會堂に於て官民和樂の奉祝宴が開かれる、なほ午前十時からは奉祝飛行が開始され數台の飛行機は國都上空を亂舞して五色の傳單を撒布し日滿各映畫館では建國色豐な映畫を上映するなど建國一色にとけ込む筈

十二年度陸軍豫算新規要求（陸相說明）

【東京國通】杉山陸相は廿八日の豫算第四分科會で明年度陸軍豫算の新規要求額ならびにその內容について詳細に說明したが、その骨子はつぎの通りである（單位千圓）

一、在滿兵備充實および維持（滿洲事件費）　二三四、七二八
在滿支地上航空各部隊の維持および增加ならびに改善一部師團の派遣および內地一部々隊の移駐

二、航空および防空の充實　一〇二、一八八
航空防空の增强、右にともなふ敎育訓練補充用員養成等の擴充
右は十二年度より十八年度にわたる繼續事業で總額五千二百八十三萬四千餘圓である

三、兵備改善　二四、七四一
在外地部隊の增加、耐ガス隊、戰車、遞信その他諸施設充實、動員業務の改善および用員の增加、補給制度の改善
右も十二年度より十八年度にわたる繼續事業で總額一億三千八百四十萬七千餘圓である

四、資材整備費　四〇、〇〇〇
兵力の增加および編成裝備の改善にともなふ作戰資材を本格的に整備するもので十二年度より十八年度にわたる總額九億圓の繼續事業である

五、その他一般新規要求　八、二三七
滿洲上海兩事變で消耗せる燃料品廠備費、共濟組合補給金の增加、屯田兵サガレン引揚げ等、救恤金その他合計廿八件

正貨現送の政府當局方針

【東京國通】結城藏相は廿八日の豫算第三分科會席上政友會の大口喜六君の質問に答へて正貨現送問題に關する政府の所信を披瀝し

一、現送は金貨でなく金塊をもつてすること
一、現送は政府勘定をもつて現送すること
一、平價切下げについてはその必要を認めてゐないこと

等の方針を明かにしたが、右について大藏當局と正金兩當局と協議中であり目下日銀兩日には現送の時期ならびに方法について具體的細目を決定するはずである、しかしてその內容については當局の方針とみられるところは大要左の如くである

一、現送の方法　政府勘定によることは確定的で現送先はニューヨークとし金塊を數回にわけて隨時現送する
一、現送の時期　三月十日より十五日までの間の時期と推測される
一、現送の金額　さしあたり第一回分として現送する額は時價で一千五百萬圓程度であるが、將來現送するものを豫定すれば二億乃至三億に達するものとみられる
一、日銀の利益金處分問題　金の現送によつて日銀が得る利益の處分方法については今後適當な方策を講ずる
一、平價切下問題　平價切下げについては現在でも實質的には切下げられてゐる狀態であつてこれを法律化する手續は極めて容易であるが、現在のところ平價切下げの必要は認めてゐない
一、產金買上値段の問題　將來產金買上値段引上げの問題も起らないとは斷言できないが、今日のところその必要を認めてゐない

偶語

滿洲の治安が日に確立しいよいよ法權も撤廢されるまでに進捗した▼內地實業界方面でも漸く滿洲の產業開發に乘り出さんとし▼財界巨頭の來往頻繁となり▼解氷期を目睫に控へ一般觀光團の來往又繁きを加へつゝあるとき▼これら旅行者が樂しみとする旅先のホームであるべき旅館は果して▼旅行者に好感を持たれるやうなサービスが行屆いてゐるかどうか▼つい先日全滿を旅行した內地のさる人の置土產によると滿洲の旅館は大連が最も感じがよろしい▼ついで奉天新京と北に進むに從つてサービスが惡くなる▼新京は國都でありながらその應待といひ感じの惡いことはお話にならぬ▼旅館の感じ一つで國都の印象をすつかりぶち毀されたとぷりぷりして歸つて行つた▼新京には附屬地だけで五十軒からの旅館がある無論その全部が全部と云ふのではなからうが▼市民の一人としてそういふ話を聞かされることは餘りよい氣持のせぬものだ▼旅館組合では使用人のサービス講習をやつてゐるといふことを聞いており▼旅館との關係機關でも旅館の施設サービス改善等につき研究してゐるやうだが▼兩々相俟つて實績のあがるやう今少しく眞劍にやつて貰ひたいものだ

社説

慶祝建國五周年

次の躍進への劃期たれ

一

滿洲國建國の五周年記念日はめぐり來つた。民衆の總意と友邦日本の援助とによつて國を樹てたのはまさに五年前のけふであつた。爾來、行政經濟の一應の整備は終つて、本年からは愈よ第二次五ケ年計畫の年に入り劃期的建設工作に邁進することになつたのである。過去五ケ年の施政の實績を回顧すれば、建國宣言に公約された政策、施政は必ず眞正の民意に循ふこと種族の岐視尊卑の分別を存せしめぬこと、暗黑政治を除くこと法律を改良すること、實業を奬勵し富源を開拓すること、警兵を訓練し匪禍を肅正すること、金融を統一すること、教育を普及せしめること等諸般の事項は大體に於いて顯著な實現を見てゐることが知られる。これは王道主義を實行し國内全民族をして熙々皐々として春臺に登るが如くならしめるといふ理想へ着々と近づきつゝあるものと言ひ得るであらう。

二

建國滿五周年に當るこの日滿洲國帝位繼承法が制定された。これは現皇帝を祖としその子孫が帝位を繼承されることを明らかにし大統繼承の順位を定めたものであつてこの國の將來のために不動の基礎を確立するもの、まことに慶祝に堪へぬところである帝位繼承法前文に「有ゆる守國の遠圖經邦の長策悉く日本帝國と協力同心以て益兩國不可分離の關係を敦うし一德一心の眞義を發揚し」云々とあり、また「大寶儼然建中易らざる實に日本天皇陛下の保佑に是れ頼る」とあるのは特にわれらを感銘せしむるものである

三

この國の創建は、日本肇國以來の大理想とその軌を一にするところの道義による世界協和の第一段階であつたことを再認識しやう。日滿一德一心、民族協和、王道樂土、道義世界の實現を理想とする滿洲國の政治は弊害の多かつた過去の政治形態に執着すること なく、眞に新國家の本質と實情とに適和する公明正大なものでなくてはならぬ。かかる理想に向つての熱烈な努力がこれまでにもなされて來たことは明白である。しかも今後に於いてもこのやうな努力は續けられて行かねばならぬことである。かかる事情に對應しこの國をめぐる各方面の情勢の推移にはますます微妙な動きがある。かかる事情に對應してこの國の國内體制を整備することは當面の緊要な課題である。多種民族をこゝに連ねる結合は愈よ鞏化されねばならぬ。この間に指導的地位に立つものの責務は重く且つ大である。この年の記念日は更に次の躍進への劃期をなす時となるべきである。

若き盟邦躍進の姿

建國五周年を壽ぐ

關東軍司令官 植田謙吉

本日は早くも滿洲建國の第五周年紀念日を迎へましたが眼のあたり潑剌として躍起として躍進又躍進を續けつゝある若き盟邦の姿を拜見致しますことは眞に御同慶至極でありまして、滿洲國帝室を始め奉り

(忠良)

なる三千萬民衆に對し深厚なる祝意を表する次第であります

抑て滿洲國は我が大日本帝國と一體不可分の關係に於て諸般の障碍を打破しつゝ理想國家の建設、亞細亞復興東洋平和の確立等に邁進せねばならぬ天命を課せられて居りますことは周知の事實でありますが、此大使命を美事に貫徹せしめんが爲には更に一層、不屈不撓の努力を要するものと考へます、就中、軍官民の何れを問はず人の和を以て最も緊要と致しますことは申すまでもありません、滿洲國は數民族相寄つて國を成して居りますが、此等民族の融和團結と云ふことは必ずしも至難の事ではないのでありまして、之が爲には滿洲國官民がよく東洋の現狀を正視し、深く滿洲國に課せられた天命を自覺し利己主義乃至團體利己主義の觀念を捨てゝ國家社會生活の

(規範)

である、全體主義を基調とする愛他共存共榮の精神に徹すべきであると考へます、各民族の融和團結こそは實に滿洲國民に與へられた試金石でありまして、之が成否は東洋の興廢を永遠に決定するものと存じます、又滿洲國は四周の狀勢上、國防の忽にすべからざるものがあり、且、今尚、建國の途上にありますので、王道樂土の建設に邁進しては居りますが、國民福祉の施設等は未だ十分とは申し難いと思ひます、滿洲國民はよく以上の理を辨へ、理想國家の完成を樂みに、專心業務に勵まれんことを希望致します

茲に芽出度き建國五周年紀念日を迎へ、滿洲國官民が愈々勇を鼓して、理想國家の完成と共重大使命の達成とに邁進せられんことを切にお祈りする次第であります

"建國精神を體得 理想への實踐者たれ"

……張國務總理記念日感想……

古來より王道國家と申せば歷史家は勿論のこと、誰しも成周の文物燦然たる國家を想起してその統治を理想として居ますが、實は鵜の眞似する鴉水に溺るの譬諭にもれず漢の王莽の如き周制を眞似して天下を誤り人民を毒し宋の王安石の如き周制を實際化せんとして

大失敗

した例は歷史上昭々として觀ることが出來ます、簡單に王道と申しましても誰ぞ容易ならむやで、實は王道の中を行ふの難きに非ず王道の中を執るといふことが難いのであります、中を執るといふことと一を執るといふことゝ時々混同されこれが實に治亂興亡の因で岐るゝところとなるのでありますから、爲政者はこの中を執るといふことに一生の心血を注いで治國の大業に邁進せねばなりません、しかるに何等の幸福ぞや、わが滿洲國は建國以來盟邦日本帝國の仗義援助の下に年一年とその國運を伸張し國力を培ひ步武堂々としてこの五周年建國記念日を迎へましたが、私の總理大臣として盟邦に感激措く能はざる所はわが國を援助されることが悉く

王道の

中を執られたことであります、わが國は御承知の如く廿餘年にわたつて東北政權の暗黑政治を廓清しその國本政本を建てた國家であります、この時に方り國家勞頭の急務は問はずして治安の維持と民生の安定とにありましたが、これに對して盟邦の援助は一として王道の中を執らざるはなく、勢の緩急を審にしてその急に應ずるや迅雷風烈の神速たるが如く、ことの先後を明かにして施設の本末に些の遑算なくその結果建國僅に五周年にして今日の實績を擧ぐることを得たのであります、

具體的に申するならばわが國は過去五年の政績に鑑み綜合的建設計畫を樹立し本年度よりこれが實行に着手することに決定してゐますこの建設計畫の根本精神は固より國勢の全般にわたりてその有機的發展を期する次第でありますが王道の中を執る見地より國際環境の現狀に鑑みまして軍需建設と國防治安の上に置き上下一體五族協和の下に鋭意これを遂行したいと心私かにこれを

天日

に誓つてをります、經濟建設については既に産業開發の基本精神が確立してゐますからわが富國增進の源泉となるべき各部門にわたりその實行に移り成案を具現して利用厚生の實績を擧ぐると共に一面無事に處し、有事に對する計畫も萬遺漏なき準備を整へ、一意建國の眞義貫徹に邁進する誓願でありますが、要するに人能く道を弘むるの格言が國運發展の根本を成すのであるから私はこの建國五周年の時に記念すべき佳辰において深く體得して血性ある實踐者たらんことを望み、又はるかに東嚮して盟邦日本帝國の朝野にはなほこの上とも一層の指導と援助とを懇拜する次第であります

"今昔を想ひ合せ 慶祝に堪へず"

熙宮内府大臣謹話

三月一日はわが滿洲國建國五周年記念日であり、また帝制實施三周年記念日であります この意義深き日を迎へ上下國を擧げ歡欣鼓舞の熱忱を披瀝し、慶祝する次第であります 五年前までの滿洲を回顧しますれば、當時は軍閥割據し匪賊橫行して人民は具さに水深火熱の

苦を

嘗めてゐたのであります、幸にして我が皇帝陛下には三千萬民衆の總意を思召され、又日本帝國朝野の義援に賴り新國家を御創肆遊ばされたのでありますが、新國家は從來の一切の秕政をセン除し、ますます光明の途に邁進し、諸般の施政も着々整備に向つたのであります、帝制實施以來國礎は日に益々鞏固となり、政治も日に進展致しました、滿洲における住民が受ける甘苦安危の別は五年前と現在とでは天地霄壤の差に止らず往昔を思ひ、現時を思ひ誠に慶祝に堪へない次第であります、皇帝陛下の聖德は天の如く治政五年間廣く

恩澤

を施され、ひたすら日本友邦と一德一心以て兩國永久の基礎を定め、東方道德の眞義を發揚し、更に東亞大局の平和、人類の福祉のために御盡力遊ばされたのであります、かくの如く聖謨は洋々として衆庶に正大光明の途を示されました、これ偏にわが臣民の感激し、且永久に記念するところであります

"選ばれた勇者達よ 理想實現期せ"

新京特別市長 韓雲階

一國の興隆は建國の理想の規模に俟つこと極めて大なり、建國の理想、高遠且宏大なる國家は永く其隆盛を誇るべく然らざる國家は竟に衰亡を以て其の運命とす、我が滿洲帝國天運を承けて此の東亞の天地に國を建つるや日滿一德一心、民族の協和、王道樂土の實現を以て國是とし道義世界の建設を以て建國の理想とす、其理想の高遠にして且宏大なる地上多く其の例を見ざるところなり、然りと雖建國以來日尚淺く今尚漸く草創の時代に屬し萬般の制度、施設未だ全からず

王道

の政治宇内に普しと誇稱するを得ず、これ人力の至らざるに非ずして草創僅かに五星霜に過ぎざるを以てなり、然り我が滿洲帝國は建國僅かに五年にして今正に建國時代の最重要時期に直面しつゝあり、これ建國の聖業に參ずる者の瞬時も忘却すべからざる事實なり、建國の時代は諸事新鮮ならざるべからず、規模雄大ならざるべからず、姑息因循は最も排斥せざるべからず、而して我等は此の東亞の一角に鍬を入れ家を建て道を開き王道樂土を具現するは皆これ一の新らしき國家の創造を目指すものにして而も其成否の如何は實に我等建國の聖業にたづさはる三千萬國民の掌中に在り、我等は新國家建設の選ばれたる勇者なり此時代に對する自覺こそ建國理想實現の第一要諦なりと信ず 而して國の成るは地の利と人の和とこれなり、大地如何に豐饒なりと雖國民其の和を缺き協力の實擧がらざれば國の隆盛は得て之を期すべからず國家隆盛の基は

實に

國民の一致團結に在ること國家興亡の歷史に照らして昭々として明かなり宜しく寛容謙讓の德を持し、哲人の識見を以て國事に處し五族各々其の長を採りて短を補ひ相扶け相和し小異を捨てて大同につき一致して國運の發展に協力せざるべからず、これ建國理想實現の第二の要諦なり、更に眼を轉じて世界の大勢を見よ、政治の鬪爭、經濟の衝突、思想の混亂等實に世界の文明は今や正に有史以來の一大危機に直面しつゝあり、其の混亂の中に國を建てんとする我が滿洲帝國の前途又平坦に非ず寧ろ難事なり、而して此難關を突破するは一に堅忍不拔の精神なり撓まざる努力と忍耐となり、我が帝國は我等一代の事業を以て或は完成せざらん、されど我等は實に建國の基礎を築くものなり、眞に其の任や重且大なりと言ふべし而して今や正に實踐の時代なり百の言論は一の實踐に及ばず、我等は如何なる言說にも惑はされず、進んで邪なる

思想

を克服して一路邁進建國の理想に向つて實踐すべきなり、これ建國理想實現第三の要諦なり、本日建國五周年記念の式典に臨み感激新なるものあり恭しく先輩殉職諸士の英靈を祭り參列者一同と共に英靈の前に誓ひ又自ら勵し、英靈の遺業に悖らざらんことを期すを以て式辭とす

"盛業の達成へ"

星野總務廳長語る

わが滿洲國が苛斂誅求、貪婪暴虐なる舊軍閥の桎梏を打破し五族協和、東洋平和の大旆を翳して獨立を宣し王道樂土建設の業を肇めてより五星霜その間克く國歩の艱難を克服し着々として巨歩を進め、すでに第一期の建設を畢りて

國基

ますます固きを加へ更に第二期建設工作に向つて發足し本日こゝに建國第五周年記念日を迎ふるにいたりたるは上叡聖文武にわたらせらるゝ陛下の御稜威と友邦日本帝國の絕大なる援助ならびにわが國官民一致の努力によるものにして洵に同慶に堪へざるところなり、顧みるに五年の歲月は短しといふべからずその間の事蹟また赫々たるものあるも理想國家建設の大業に比すればなほ一瞬の業とも稱し得べし第一期の建設工作を完了せりといふもわづかに建設の基礎工作を一應達成し明日の躍進に對する態勢を整へ得たるに過ぎず、今日の世界情勢をみるに

各國は

現狀維持對現狀打破の二大陣營に分れて國家間の抗爭は激化の一途を辿り調整の機を見出し得べくもあらず、滿洲國をめぐる國際環境また樂觀を許さず、こゝに尨大なる軍備を擁し人民戰線の旗幟の下に虎視眈々として世界制覇を狙ふソヴイエト・ロシアあり、南に變轉常なく禍の何時隣邦におよぶやを保し難き中華民國あり、滿洲國の前途に多事なりといふべし、この建國の佳き日を慶祝すると共に更に建國の創業を回想し、堅き決意をもつて聖業の達成に勤邁せんことを希望す

陸軍記念日に航空ページエント

【東京國通】「將來戰は空から」と陸軍では本格的國防充實の第一步として航空、防空兵力諸機械整備に躍起となつてゐるが、來る三月十日第卅二回陸軍記念日に當り東京で劃期的な航空ページエントを開催することとなつた、主催は東部防衛司令部、航空本部、航空兵團司令部、それに東京市、同聯合防護團、警視廳等が協力、空前の大がかりなもので當日午後二時から洲崎埋立地上空を中心として行はれる參加空軍は下志津、熊谷兩飛行學校、立川飛行第五聯隊、遠く明野、濱松兩飛行學校、濱松飛行第七聯隊まで動員して各種新鋭機百卅機、爆擊機數十機、これを所澤飛行學校長江橋英次郎新中將が自ら指揮して南方遙か品川沖から飛來、上野に向つて大編隊の示威飛行によつて埋立地第五號地の一部と第四號地に設けられた模擬市街に小型爆彈數十個を連續投下するといふ計畫で當日はさぞかし壯觀を呈するものと豫想されてゐる

ジヤピー氏に村民が温い同情

【福岡國通】ゴール賞前不幸佐賀縣背振山に墜落したフランスの鳥人ジヤピー氏が重傷の身を福岡九大病院に入院してから約二ケ月溫い同情、手篤い看護を受けて傷もやうやく恢復し今は別府の九大研究所で病後の保養に努めてゐるが、墜落以來ジヤピー氏に寄せられた地元村民その他の溫い友情に幾多の國際愛の佳話をうみ各方面に感激を與へてゐたが、特に同氏の愛機製作會社コードロン會社はこの日本國民の好意にいさゝか感謝の意を表したいと廿六日福岡縣廳宛感謝の意をこめた手紙と共に金三千フランを送つて來た

「祈りの鐘樓」建立計畫進む

特別市開運街日蓮宗僧侶吉岡行辨師は滿洲建國を慶祝し忠誠なる先人の靈を弔ひ東洋の平和世界の平和絕體永遠の確立を最高目標として獨自使命とする日滿精神の一具象現として首都に「祈りの鐘樓」を建立せんと兼て計畫中のところ最近愈よ具體化し場所も新京黃龍公園朝日ケ丘の頂にほゞ承諾を得たのでこれが費用を一般の喜捨に仰ぎ度くと吉野町一島名福十郎氏、山吹町二丁目青木信一氏の兩發起人と連署でこれが寄附募集を關東州並に各滿鐵附屬地當局に願ひ出たが鐘は高さ一丈一尺一寸一分、直徑九尺、重量一萬八千貫と云ふ尨大なもので三萬五千圓を以て昭和十五年二月十一日に完成される豫定である

天氣と氣溫

けふの天氣 南西の風曇後晴
日の出 前七時[illegible]
日の入 後六時[illegible]
月の出 後十時[illegible]
月の入 前八時[illegible]
きのふの氣溫 最高零下[illegible] 最低零下[illegible]

記念日を明日に控へ 昨夜林務司計畫科全燒

火勢炎々木造家屋を煽り 紅蓮冲天、稀有の大火

滿洲帝國建國五周年記念日を明日に控へ國都三十萬市民は慶祝の歡喜に胸おどらせつゝ準備おさ／＼怠りなき二十八日午後十時十分頃新京特別市東六馬路元國務院統計處、情報處、馬政局三機關建物の中央玄關から發火し火焔は見る／＼四方に延燒し急報にて馳けつけた滿洲國消防隊、新京附屬地滿鐵消防隊、城內憲兵分隊、滿洲國新京地區警備司令部等必死の活動も木造家屋のことゝて火廻り早くて手の施しやうなく建坪三百五十坪の建物のうち一部分を殘したのみで烏有に歸し、午前零時四十分頃漸く鎭火した、建物內は過般國務院の移轉で引越した情報處、統計處、馬政局のあとへ引移つた實業部林務司計畫科が全部を占め、またと得難き航空寫眞其他重要資料は殆んど燒却した模樣である、損害約三萬圓、附近には大同報社、盛京時報支社を始め新京地區警備司令部、元國務院廳舍、永康莊等を始め樞要建物櫛比し一時は危險視されたが消防機關のめざましき活動と無風のため類燒を免れたことは不幸中の幸であつた（寫眞は炎上中の林務司計畫科）

"電線泥棒の仕業か 火の氣はなかつた筈" （宿直談）

當夜當直で最初出火の發見者である林務司計畫科專屬宿直李賛玉君（二〇）は當時の模樣について語る

恰度十時十分ごろでした、正面當直部屋に私一人ゐましたが、いやに部屋が煙つたので廊下に出ると同時に左右から煙が吹き込んで一寸先見通しがきゝませんでした、仕舞つたと思ひ全部の鍵を取りに戻つて窓から飛び出て急報しました、外に出ると建物には既に焔が取圍んでゐるではありませんか、原因ですか、確かなことは申されませんが少くとも私の考へでは二十六日でしたが煖房屋さんが來て天井裏にある風通のために設けてある桦から泥棒が這入つて天井裏の配線全部がペンチで切斷して盜まれてゐるのを發見しましたが、その切斷された電線が接觸して發火したものか、あるひは今日、日曜で誰もゐない際にまた電線泥棒が這入つて電線を扱つて漏電したのではないかと思はれます、何に今日は何等火の氣は扱はなかつたのです

最初の目撃者談

最初からの目撃者旭アパートの鈴木さんは語る

「妾しが家計簿をつけてゐると窓がパアッと赤くなつたので見ると猛烈な勢で焔が燃え上つてゐるので驚いて方々へ電話でお知らせしてゐるうちに消防が來てホットしましたがつのる火勢を前にして水が出ないのでだいぶしばらく心配しましたよ風がなくてよかつたですね」

"瞬間の出來事" 受付渡邊氏談

同夜受付室に居殘つてゐた臨時產業調查局の受付渡邊五郎氏は語る

十時十分頃でした眞前のつき出し玄關に當つてパッと明るくなつたので飛び出して見ると玄關屋根裏から盛んに火を吐いてゐるので吃驚して直ちに消防署に急報するとともに運轉手と共力して車庫から乘用者六台を引き出したが、既に手の下しやうもない瞬間の出來事だつたのです

火災に今後滿洲國機關の擴大されるに連れて火元取締責任規定の內規か之を議會に一部識者に唱へられてゐるが妥當の對策であらう

"航空寫眞を始め 重要書類は悉く燒失" 岸林務司長暗然語る

林務司計畫科發火の報に接した實業部林務司長岸良一氏は急遽中銀クラブより車を馳せて火災現場に急行、部下を指揮して重要書類の持出し、消火指揮に努めたが、炎々と燃え上る林務司中心機關たる計畫科の火焔を眼前に暗然として左の如く語る【寫眞は岸林務司長】

皆樣を御騷がせし誠に恐縮に堪へません、私が馳けつけた際には未だ火焰は天井を拔いてゐなかつたが建物の關係と水が不足であつた爲火はみる／＼中に全家屋を這ひ日滿消防機關全力の努力も空しく此の有樣となりました重要書類の燒失は何と云つても航空寫眞が烏有に歸したことでその他の書類は複寫もあるから差支へないと思つてゐます、滿洲國產業部內の重大地位を占むる當司から斯の如き不祥事を出したことは吳々も遺憾に思つてゐます昨年十二月移轉して未だ二ケ月余りで何とも申し譯御座いません、原因其の他詳細は目下調查中です

現場は大混雜 警備、消防機關の活躍

ときならぬ大火の報に國都市民殊に滿洲國關係者は何れも驚愕狼狽して刻々の情勢を心配し附近住民は延燒を懸念したが、國都消防全機關の活動に依り淨書室の一部を殘し零時四十分鎭火したので漸く安堵した、出火の急報に逸早く馳けつけた長通路消防隊も、給水意の如くならず存分の活動を束縛されたが、全員協力一致防火に努めて豫期以上に鎭火を早めた、寄火事の報に野次馬連も交つて現場は大雜沓を極めたが、警備機關の活動でよく整理された、度々の

滿支直通機北平號 ——三月一日より就航——

三月一日から北平、天津、大連航路に使用する惠通公司自慢の北平號は純日本國產式AT機で八人乘、防音裝置あり、搭乘者が自由に喫煙出來る、ダグラスより速度が早く天津、東京間直航すれば八時間三十分天津、哈爾濱間が三時間五十分である、なほ近く同型の天津號も到着する筈である【寫眞は天津飛行場を出發せんとする北平號】

三月（大）

春寒の體溫が戻つてきた—雀の脈のやうにそぼそぼと微かな感觸、露地を子供たちが通つてゆき、笑聲が何と明るく聞えるではないか。

彼はマッチを擦り、黃ろい燐光のまへにシンとしてゐた。振返つて、氷雪に鎖された四角な部屋をこわがるのだが、彼は而し乍ら知つてゐた、もう春がそこに來てゐることを。

胡沙の風が明日は此の窓を叩きつけに來るであらう

三月一日 滿洲國建國記念日
同三日 上巳節句雛祭
同六日 地久節、母の日
同十日 陸軍記念日
同十八日 彼岸入り
同廿一日 春分、春季皇靈祭、記
同二十二日 孔春祭、祀關岳春祭

▼三月異名 （倭）彌生、櫻月、花見月、春惜み月（漢）桃辰、暮春、竊月、姑洗、季春、病

▼花暦 梅、黃梅、金樓梅、沈丁花、山茱、春蘭、アネモネ、チューリップ、フリージャ、ヒヤシンス、金魚草、パンヂー、スウヰートピー、つゝじ、アザレヤ、スズラン、カトレヤ、其他二月同、

▼風味暦 【魚類】かざめ、鯛、さより、櫻小鯛、槍いか、かじき鮪、さはら、さめ、ひらめ、うに、くらげ、白魚、【貝類】あさり、まて、さゞえ、蛤、【鳥類】雲雀、雉、小鳥類、【野菜】さやえんどう、うど、京菜、辛子菜、三ツ葉、細根大根、若胡瓜、分葱、淺葱、芽紫蘇、茗荷竹、

建國記念國民歌 あす當選者正式發表 きのふ審查委員により詮衡

一日の建國記念日をトして文教部が募集した各文藝作品の內まづ二十五日をもつて締め切つた國民歌二百餘篇に對する審查會は二十八日午後二時から放送局一階來賓室に於て文教部、情報處、協和會、滿日文化協會等關係者約十八名出席して開かれ、愼重詮衡の結果優秀作二篇、佳作若干を採擇したが本一日審查委員によつて最後的決定をなし當選者並びに歌詞の正式發表は二日になされる豫定

國防電業村分會 傷病兵慰問

國防婦人會新京支部電業村分會では二十八日の日曜日午後一時から山口分會長以下會員二十餘名が新京陸軍病院を慰問して三時間餘に亘つて子供の舞踊、講談、尺八、琵琶演奏、踊等を催し無聊に苦しむ傷病兵を慰め午後四時半頃終了した

新京百貨店組合 けふ協議會開催 商店協會側の通告を研究

一日午後二時半より記念公會堂に於て新京百貨店組合協議會が開催されるが同業者間の懸案に就き種々協議せられる筈で目下問題となつてゐる商店協會側の百貨店增擴考慮通告に對する態度を研究するものとみられ成行は注視されてゐる

入營の三君出發

二十八日午後三時四十分發列車では一日入營の滿鐵社員消費組合當成源七君、新京驛貨物廣瀨興守君、新京中央郵便局勤務小倉茂君の三名はそれ／＼親戚、知己、先輩同僚の盛大な見送りをうけて雄々しく出發した

事務局執務時間 一日より改正

滿鐵新京事務局の執務時間は三月一日より午前九時から午後四時迄に改正される

三月中決定の公會堂行事

三月中の記念公會堂申込みは左の如し（廿八日現在）
▼一日、建國記念古地圖展覽會午後七時より基督教青年會午後二時半より新京百貨店組合
▼七日、午後一時より黎明會
▼十日より十四日迄五日間道路研究會
▼十四日、午後一時より黎明會
▼十五日 午前十時より十二時迄店員講習會（編入組合）午後二時より計器公司株主總會
▼二十一日、午後一時より黎明會
▼二十日、午後一時より黎明會

白酒呷り口論から 同僚を殺める 半島人同志のとんだ祝宴

酒は魔性か白酒に狂つて同僚を殺めた半島人—廿六日午後二時頃伊通縣孤榆樹趙家屯金三元方に半島人七名集合、元宵祭の日を壽ぐ爲め車座になつて酒宴を開き白酒をあふり盛んに氣勢をあげたが醉も廻つた五時三十分頃朝鮮平安道生れ金成基（五〇）と同僚李德財（五七）とは一寸した言葉の行違から口論亂鬪となり李は金が突いたはずみに後頭部を打ち、その儘打ち所が悪かつたか息切れてしまつた、屆出でにより領警署下田檢事事務取扱は二十八日現地に出張檢證の上加害者金成基を逮捕被害者の死體と共に引上げ死體は滿鐵醫院塚本院長執刀の下に解剖し、加害者は傷害致死罪として嚴重處分に附し領事館刑務所に收容目下嚴重取調べ中である

春は海から 熱河丸超滿員

日滿連絡船熱河丸は一日早朝大連に入港したが、乘客總數八百六十名といふ本年度オール・エス・ケ・ラインの最高レコードを示したが、船客中には直木國道局長並びに大毎婦人使節團一行八名等あり早くも春は海から花やかに滿洲を訪づれはじめたわけである

自轉車盜難二件

特別市七馬路五號川口製作所宮崎辰治は二十七日午後零時頃八島通り郵便局前に於て新領九〇六號自轉車一台を、永樂町二ノ一金物商下條重喜（二一）は二十七日午後四時頃大同大街康德會館入口に於て新警一三七號自轉車一台を共に何者にか窃取され二十八日當局に屆出でた

憲兵訓練處 卒業式擧行

滿洲國憲兵訓練處では來る六日午前十時から日系第一期乙種學生及び第七期學兵の卒業式を擧行する

小捕物一件

咸鏡南道盧康辰（二十六）は二十五日午後三時頃朝日通り沈某方に侵入四百六十餘圓預入れの郵便貯金通帳並にオーバーその他を窃取逃走せんとし家人に發見され一目散に驅け出し姿を晦ましてゐたが、二十七日午後五時頃朝鮮關に何食はぬ顏で來たところを財前、李兩刑事に逮捕された

相川總督府外事課長來京

朝鮮總督府外事課長相川勝六氏は二十八日午後十時着〃ひかり〃で來京中央ホテルに投宿した

外國語學校移轉

南廣場新京外國語學校では本日老松町一八松龍ビル一階に引越したが新學期からは其處で授業を開始する事となつた

人事往來

▼長谷川宗一氏（大朝）二十八日中央ホテル
▼相川勝六氏（朝鮮總督府外事課長）同

航空往來

▼福井信一氏（駐滿海軍部）二十八日ハルビンへ
▼小林辨藏氏（請負業）同大連から

中央觀象臺々長藤本君は薩臘沖繩觀測所から來任した請はゞ海から陸への方向轉換をした人だが▼實に器用な男で一杯機嫌でダンスホールに現れると、左手にダンサーを抱へ右手に火の付いた卷煙草を持つて、込み合ふホールを天體觀測の如き澄ました顏付で踊つてゐる▼口の悪いのが曰く「刻一刻と變る天體の觀察もジャズのリズム程には興味がないらしいから、觀象臺でレコードでもかけて仕事をしたら能率が上るだらうに」▼實現したらと喜ぶ連中は藤本君以外にもあることは請合だ、一つ如何ですか？この珍案を實行したら……

滿洲全土に亘る

ムシ齒を徹底的に豫防し、御健康増進の爲に、品質優秀なるライオン齒磨を、毎朝毎晩ぜひ御使用下さい

御愛用者御優待に此大懸賞！

金側腕時計

寫眞機

ポータブル蓄音器

鏡臺

ラヂオ・セット

電氣スタンド

懸賞課題

下記の處へ適當な文字を入れて「驚くべき吸着力と殺菌力とを有する世界で一番名高い齒磨」の名前にして下さい。

ラ○オン齒磨

又は（獅○子○牙粉・獅子○膏）

此豪華な大賞品!!

賞品

壹等 金側腕時計・寫眞機・鏡臺・ポータブル蓄音器・ラヂオ・セット 六十名樣（各十二名樣宛）

貳等 電氣スタンド 二百名樣

參等 ハンカチーフ 六百名樣

四等 美術懷中鏡 四千名樣

等外 アースタム十○錢 殘り全部の方

◇應募規定◇

應募用紙 次の五種に限ります。

ライオン煉齒磨（家庭用・大形・中形・小形）の外函の裏面。

ライオン粉齒磨（特大袋・大袋）の上部を四分の一切り取り、それを葉書大の紙に貼つたもの丶裏面。

潤製ライオン齒磨の帯封を取り、それを葉書大の紙に貼つたもの丶裏面。

ライオン齒刷子（一號形・二號形・三號形）外函の裏面。

ライオン水齒磨（一號瓶・二號瓶）の包裝紙。

書き方 御應募用紙へ次の四つをわかり易くお書き下さい。

一、課題の答　二、御希望の一等賞品名一つ　三、御住所と御姓名　四、廣告を御覽になつた新聞名

送り方 お買ひ求めの販賣店へ御托し下されば郵税も省かれて御便利です。又は直接次の送り先へ御郵送下さい。多數の場合は小包便でも結構です。郵税不足は受付けません。

▲送り先　奉天浪速通一八高橋ビル内　ライオン齒磨滿洲駐在所

締切 七月三十一日　駐在所到着分に限る。

抽籤方法 八月中旬所轄署員お立會の下に、嚴正なる抽籤を行ふ。一等は正解を希望別に抽籤し、二等、三等、四等は一等に當籤洩れの分を合せて順次抽籤す。

當籤發表 九月中旬。主なる新聞紙上に一等、二等、三等の御當籤者を發表、其他は賞品の發送を以て之に代ふ。

最も確實に而も迅速に口中の細菌を一掃する